

スウェーデンに学ぶ環境教育(ESD)

廃棄物問題ロールプレイディベート(ゴミ処分場の設置許可をめぐる)

前回のシンポジウム - スウェーデンの環境戦略に学ぶ - から3年を経過しました。

地球温暖化問題など、ますます環境の重要性が叫ばれる中で、わたしたちは、子どもから大人まで、幼稚園から大学院まで、民間企業から政府官庁まで、環境教育の重要性を認識して、積極的に環境教育に取り組まなくてはなりません。しかし、環境教育とは何をすべきか、その回答は容易ではありません。私たちは、今回もまたスウェーデンの環境教育(ESD)の海外視察に出かけ、自分たちの環境は自分たちで考えて守るべきであるということこそ重要であるとわかりました。今回は、調査の報告ばかりなく、会場に来ていただいた皆さんと一緒に考えるシンポジウムにしたいと思います。皆さん、是非ご参加下さい。



(ESD=Education for Sustainable Development, 持続可能な発展のための教育)

日時：平成20年3月15日(土)午後1時～5時30分

場所：弁護士会館10階 第二東京弁護士会会議室

住所：東京都千代田区霞が関1-1-3

交通：東京メトロ・丸ノ内線・日比谷線
千代田線「霞ヶ関駅」B1-b出口直結

主催：関東弁護士会連合会
第二東京弁護士会

問合先：関東弁護士会連合会
/担当石田(平日のみ)

電話：03 3581 3838



入場無料、申込みも不要ですので、直接会場へお越し願います。

スウェーデン環境教育(ESD)調査報告書、環境テキスト(版)を無料配布します。

【シンポジウム概要】

第1部 スウェーデン環境法典と環境教育(ESD)の現場

釜井英法弁護士、近藤宏一弁護士ほか(関弁連公害対策環境保全委員会委員)

～日本とは何故このように異なるのか～

スウェーデン環境法典の役割と、持続可能な発展のための環境教育とは。

第2部 ゴミ処分場の設置をめぐるロールプレイディベート

中央大学法学部のみなさん

小倉孝之弁護士、坂本博之弁護士ほか(関弁連公害対策環境保全委員会委員)

～廃棄物最終処分場の設置をめぐる～

住民、業者、行政の利害が激しく衝突し、

手に汗握るディベートバトル。そして調停案は、どうなるのか…。

+ 総合コーディネーター

只野靖弁護士(第二東京弁護士会、関弁連公害対策環境保全委員会副委員長)

木邑優子(有限会社グレイスアカデミーESD事業部)

